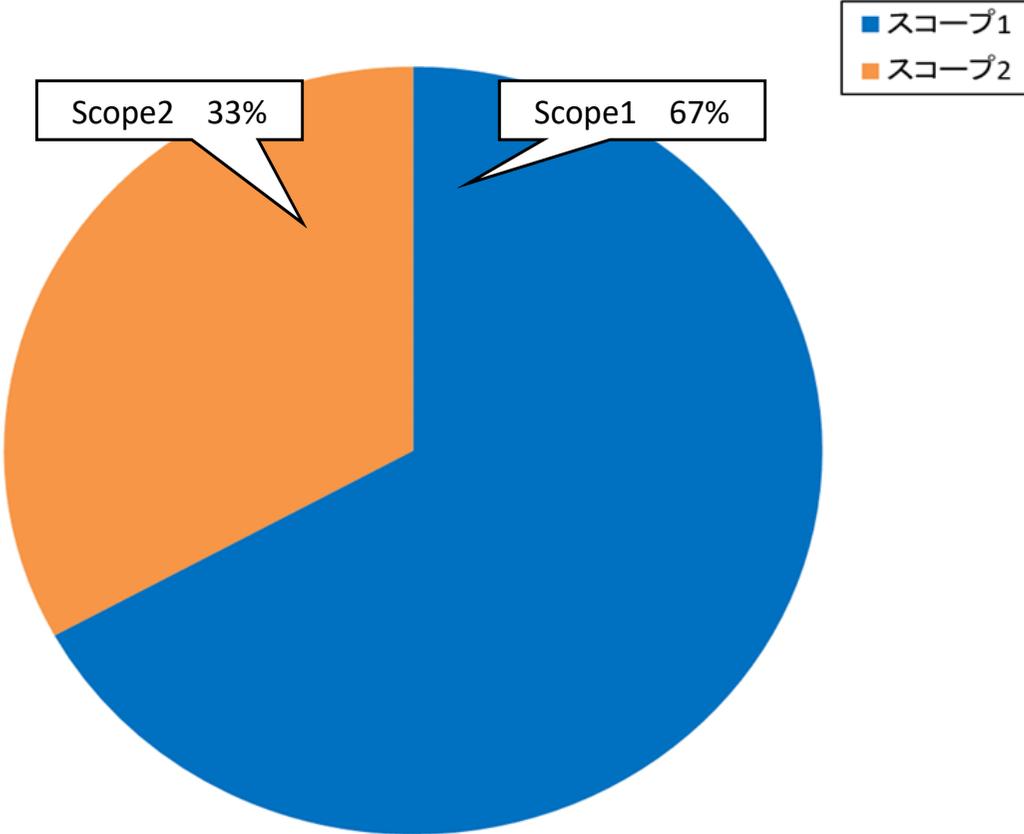


ユタコロジー株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：サービス業● 事業概要：ビル環境事業・トイレタリー商品企画製造販売事業● 事業規模[任意]：売上8億円（2020年度）、従業員数340名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 電力の再エネ化を推進、自社製造商品資材のリサイクル、オフィス照明LED化、温室効果ガスカーボンオフセット、エコカー導入</p> <p><再エネ100%の目標について> 2030年までに脱炭素100%目標</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> 協力業者、サプライヤーとの連携により、省エネ活動に取り組む。また顧客と連携して、資材の簡素化、リサイクルに取り組む。</p>

ユタコロジー株式会社

項目	内容							
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2 の排出量の状況  <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Scope</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope 1</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>Scope 2</td> <td>33%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	Percentage	Scope 1	67%	Scope 2	33%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 24[tCO2]
		Scope	Percentage					
		Scope 1	67%					
Scope 2	33%							
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 12[tCO2] 								
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : [tCO2] ※SCOPE3算定なし 								

ユタコロジー株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 当社の主要顧客は、環境配慮、ESGを経営課題としており、協力会社に対しても、今後GHG削減要請が高まる可能性がある。● 自社の販売する商品資材の省エネ化に積極的に取り組むことで、企業評価の向上が期待される。また、資材の省エネ化により、業界での普及の促進に寄与することが期待できる。● ビルメンテナンス業として、ビル施設管理におけるGHG削減に貢献することで、ビルの価値向上が期待できる。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 当社は、優良エコ事業所認定や、エコチューニング事業所認定等を取得してきたが、脱炭素を自社の経営課題とし、中長期的なCO2削減目標の策定を計画し、この目標が経営目標と一致することを目指しているため、SBT取得をしたい。● SDGs取り組み宣言をしたが、SBT取得により、社会課題を解決することで、顧客の発展に更に貢献する。

ユタコロジー株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 当社の既存組織であるISO委員会で検討の上、今期事業計画にて、全社目標の必要性、取り組み意義を共有できた。● 当社SDGs検討会においても、2030年時点からの目標設定の議論を行った。方法論や課題について様々な意見が出たが、目標達成への共通認識はできた。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 再生エネルギー使用、エコカー比率の向上、使用資材の検討が必要。● 当社顧客及びサプライヤーとの連携と、その方法を検討していく。